

【中学校数学 活用問題 中1－1】

(単元評価問題関連：中1－①)

宮崎県の果樹の産出額について	()組 ()番	氏名
----------------	--------------	----



まさこさん



マンゴー



完熟キンカン

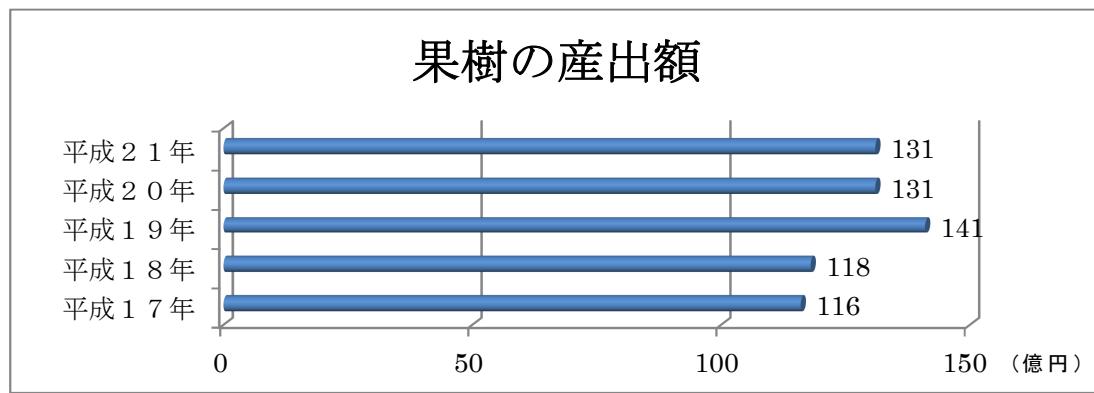


日向夏

私は、総合的な学習の時間に、宮崎県の果樹について調べました。

宮崎県の果樹農業は、温暖な気候条件を活かしたマンゴー、完熟キンカン、日向夏などが栽培され、県内全地域で果樹の産地化が進められてきました。平成21年の栽培面積は3460ha、生産量は33938t、産出額は131億円となっています。

その中で、産出額の推移について調べました。平成17年は116億円、平成18年は118億円、平成19年は141億円、平成20年は131億円、平成21年は131億円となっています。グラフに表すと下のようになります。



平成22年は147億円で、過去最高だったそうです。平成17年から平成21年までの5年間の平均と比べると、どれくらい多かったのかを調べたいと思いました。

(1) 私は、5年間の平均を小学校で学習した平均の求め方を使って、次のように求めました。

$$116 + 118 + 141 + 131 + 131 = 637$$

$$637 \div \boxed{\text{ア}} = 127.4$$

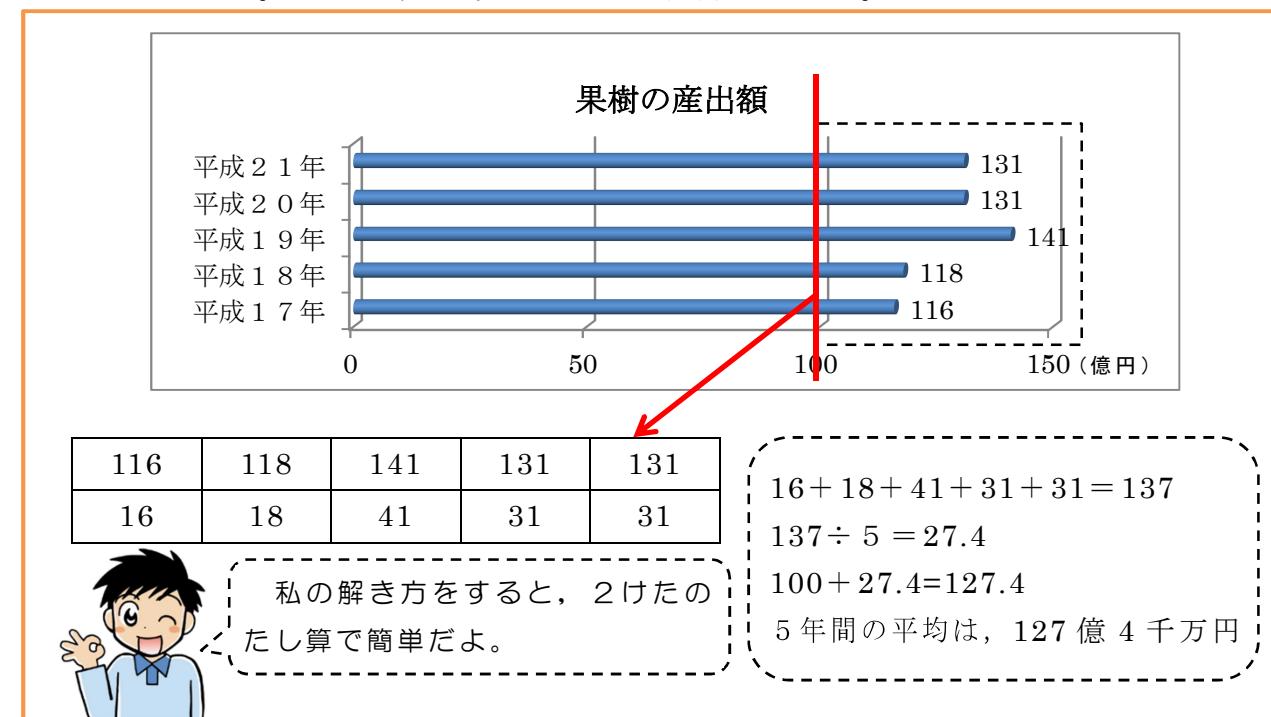
5年間の平均は、127億4千万円(127.4億円)

に入る数を求めなさい。



ア

(2) しょうたさんは、グラフを利用して次のような式をつくり、5年間の平均を求めました。どのように考えたのかを説明しなさい。



しょうたさんの考えた方法の説明

(3) まさこさんは、平成 20 年と 21 年が同じ産出額であることに気づき、しょうたさんの考え方をもとに、下のような表をつくって5年間の平均を求めました。表を完成させ、このあとどのようにして求めたのか、続きをかきなさい。

116	118	141	131	131
			0	0

5年間の平均は、127 億 4 千万円(127.4 億円)となるため、平成 22 年は 19 億 6 千万円(19.6 億円)多くなっていることがわかりました。

